

# 新年のごあいさつ 平成24年元旦



神埼市長 松本茂幸

明けましておめでとうございます。皆さまにはご家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、3・11の東日本大震災に起因した津波災害と原子力災害が未曾有の大災害を引き起こし、多くの方々の命の犠牲と多額の被害をもたらしました。いまだに復旧、復興のめども立たない状況下にあるとも聞き及び、心からご冥福とお見舞いを申し上げます。あります。この災害に対し、早速、多くの市民の皆さまから義援金と支援物資、ボランティア現地活動などと温かいご協力をいただいたことに対し、心から感謝申し上げます。

また、合併以来、市民の融和と親睦、市民の一体感の醸成を図るために企画してきた「元氣かんざき市民交流祭」は、第5回を迎えた昨年、前日來の大雨のために中止となり

大変残念でした。ただ、食生活改善グループおよび地域婦人会の協力で料理していただいた地域の食材を活かした鍋料理は、バザーや映画鑑賞（市社会福祉協議会協力実施）来場者に振舞われました。脊振の「けんちん汁」、神埼の「豚汁」、千代田の「カレー仕込のスープ汁」とそれぞれの味に来場者が舌鼓を打ち、神埼市内の食材のうま味を知ってもらおうことができ、大変良かったと思います。交流祭で販売予定分を含め「神埼菱焼酎」は、少量ではありましたが年末に売出しが実現でき、市民の皆さまに賞味していただけたことは非常に嬉しく思いました。今年は、本格栽培に向けた水田栽培の研究と西九州大学との連携による菱の効能の研究成果を活用した商品開発（ひしぼうろ、菱饅頭、菱茶など）に取り組む楽しみを実感しています。

一方、国政としてTPPの問題は、国内を二分した大きな課題となっておりますが、いざれにしても国益を守り、国民の生活と安全安心を築くものであって欲しく、国政の良き判断と実行に期待を寄せるところです。

さて、昨年の年頭に、神埼市の基礎実現と発展の方向性を定めていく時期だと申し上げ、10項目を越える事項についての取り組みを述べ、その実現に向け積極的に取り組んでまいりました。成就したものの、実現途中のものなどありますが、引き続き今年も、神埼市としての基礎実現と発展の方向性を定める大

切な時期だと認識しています。平成24年に神埼市として取り組まなければならない課題については、昨年の市報4月号から毎月「市政の課題を考える」というテーマで、私の思いを掲載させていただきましたので重なるものもありますが、主なものをあげてみますと、

## ① 組織機構の改善

本庁と総合支所のありようについては、さらなる行財政改革の観点から市役所の組織機構と職員定数の見直しが必要であり、取り組んでまいりましたので、今年4月から若干見直し機構で試行してまいります。

## ② 防災および治水対策

災害から市民を守るための手段として防災行政無線の整備が3月までに完了し、また、情報化社会から市内全域の携帯電話の受信可能化整備やCATV（ぶんぶんテレビ）敷設整備などの事業が済んでいますので、災害や行政、まちの話題など広く情報を共有できることとなりました。皆さまの希望により広い利活用をお願いして、災害による被害を最小に出来るよう努めてまいります。

また、城原川ダムについての検証が行われるとの報道がなされましたものの、いまだに具体的連絡はありません。このような中、城原川の「野越」を越流した平成21年および22年の大雨は、時間雨量70mm/時程度であり、昨年の11月18日には106mm/時（長崎県五島列島）の雨量を観測していますので、いつ

このような大雨が神崎市に降るか非常に心配  
であります。南部地域における大洪水避難場  
所の確保と国・県に新たな防災センターを設  
置するよう要望活動を行うなど、雨をはじめ  
各種災害に対してしっかりと市民の安全安心  
をもてるように提案していきます。

### ③ 学校給食センターによる給食開始

神崎町横武（横武クリーク公園西側）に建  
設中の学校給食センターは夏場までに完成し  
ますので、二期からは市直営の米飯給食を  
始めます。

### ④ 法落対策

平成18年来、圃場整備水路の法落対策は大  
きな市の課題であり、陳情を重ねてきた  
が、24年度から国営総合農地防災事業及び県  
営クリーク防災事業が始まることとなり、法  
落整備の速度が速まります。ちなみに整備の  
計画数量は、11.8km（市内）。なお、農家の  
負担軽減に努めてまいります。

### ⑤ 森林整備

脊振地域の宝の山が荒れ、間伐や枝打ちな  
どの山仕事を早急に実施すべきとの指摘を  
受けていましたが、南部の法落対策との絡み  
での間伐材利用が認められたことと、昨年11  
月30日に佐賀森林管理局と佐賀水源林整備事  
務所と神崎市の三者による「神崎市脊振地域  
森林整備推進協定書」の調印を結べたことか  
ら、神崎郡森林組合（山口三喜男組合長）の  
理解と協力をお願いしながら、森林施業計画

に基づく作業道路の整備促進を図り、搬出間  
伐などの山間部整備に取り組みます。

### ⑥ 脊振地区武道館建設

平成25年から中学校教育の中で武道（剣道、  
柔道）が必修科目となることから、脊振中学  
校現体育館の老朽化が進んでいることとあわ  
せ、早速、教育委員会との検討を行い、建設  
に向けた設計作業に取り組みたいと考えてお  
ります。

### ⑦ 神崎市憩いの家建設（神崎町老人憩いの家）

神崎町仁比山の「老人憩いの家」は築後約  
40年を経て、老朽化が著しく、早急に建替え  
の診断結果をいただいております。昨年からの  
建替えの検討をはじめ、市内全域の方々に楽  
しんで、喜んでもらえる神崎市憩いの家（仮  
称）の建設に取り掛かります。温泉源の井戸  
も新しく掘り直す必要がありますので、合わ  
せて検討に入ります。

### ⑧ 葬祭公園建設

葬祭公園建設については、市としての責務  
は認識しており、吉野ヶ里町と共同建設する  
ことで、候補地域を挙げながら協議を重ねて  
きました。場所については、近く発表できる  
と考えておりますので、市民の皆さま方のご  
理解とご協力を切にお願いするところであり  
ます。

### ⑨ 歴史文化遺産を活かしたまちづくり

全国の自治体はまちの活性化を図ることに  
躍起であり、観光事業への取り組みは顕著で

あります。神崎市は、歴史文化遺産の豊富な  
まちであり、神崎市独自の歴史文化遺産の特  
性を活かさない手はありません。このため伊  
東玄朴先生や王仁博士の顕彰事業、姉川城跡、  
城山など数々の整備事業への準備、取り組み  
に着手していきたいと考えています。

### ⑩ 神崎ブランド『神崎菱焼酎』などの開発

第一次産業の活性化については、これと  
いった特効薬はありませんが、国の政策の中  
で最も有利な制度を活用した支援策に取り組  
んでいきます。市のブランドとして平成21年  
度から取り組みました菱焼酎醸造は、何とか  
希望が見えそうなることから水田栽培による菱  
の試験採取に挑戦することとしております。

その他、さらなる福祉の充実、教育の充実  
に努めていきます。また、昨年は、トヨタ紡  
織九州ハンドボール部が優勝（第66回国体）、  
剣道男女ペア優勝（県体）など数多くの好成  
績を残してくれた1年でもありましたが、今  
年もしっかりと応援を行い、市民に希望と夢  
を与えてくれる活躍の年であるよう願って  
います。また、市民の健康と体力増進に努めて  
まいります。

市民の皆さまにとって素晴らしい年となる  
ように、市民協働のまちづくりを推進してま  
いります。



神埼市議会

議長 松本軍二

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

輝かしい平成24年の年頭に当たり、神埼市議会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は市議会に対し深いご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。お陰をもちまして議会活動に専念し、地域の振興をはじめ、市政の向上・充実などの公務に、議会全員が精励することが出来ましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、今日の社会・経済情勢は極めて厳しく、また国内経済が先行き不透明なために、景況感が悪化し、更に国・地方においては財政の硬直化が進み、財政運営は益々厳しさを増しております。

そのような状況において、神

埼市におきましては市総合計画に基づき着々と各種施策が展開されており、年次の経過とともにその成果が実感できる日が近くなることと思います。

また、国においては平成24年度予算が編成されるわけですが、補助金の削減や公共事業の見直し、国の財源不足などの報道もあり、神埼市においては地方交付税や国、県の補助金に依存する割合が大きく、事業の更なる精査が求められます。

神埼市における行財政改革は、一定の成果を挙げておりますが、市の財政はいまだに厳しい状況にあります。議会といたしましては、本場に市民が必要とするサービスが提供されているか、市民の代表として、厳しい目でチェックしていきたいと思っております。

また、地方分権が進む中、地方に権限や財源が移れば、行政の執行状況を監視する議会の役割は今まで以上に重要となり、改めてその責任の重さを痛感いたしました。

将来の神埼市の発展と市民の皆さまの幸福の追求のため議員一同、心あらたに努力してまいります。

最後になりましたが、本年もなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます

とともに、市民の皆さまにとつて幸多い一年となりますことを心より念じ申し上げます。ごあいさつといたします。



教育長 實松信子

新しい年をお揃いでお迎えることとお慶び申し上げます。

また、この一年間、市民の皆さまのご理解・ご支援を得て、神埼市の教育を推進させていただきましたことに心からお礼を申し上げます。

さて、平成23年を振り返ってみますと、主な事業として学校教育にICTの環境整備が整い、活用の元年をむかえました。また、ICTに関して、神埼市では校務処理の一元化・効率化を図るための整備を進めていきます。全国規模の多数の視察訪問を受け高い評価を受けています。

特筆すべきは、今年9月から、市内の学校給食共同調理場が稼働し、最高の施設で安全で質の高い給食の運営に取り組んでい

きます。

社会教育につきましては、「子どもに本物の芸術に親しませる」事業が展開できました。これからのこの事業を意義あるものとして継続していきたいと思っております。

また、学童保育の、千代田中部小・千代田西部小・神埼小・西郷小・仁比山小に施設の新築ができ、より快適で安全な場が整備できました。

市民の皆さまにとって必要な市立図書館の環境整備を行い、蔵書の増加・DVDの整備・また家読のモデルを3地区指定させていただきましたことにも有難いことでした。

社会体育では、平成22年に引き続き「チャレンジデー」に参加でき、東日本大震災のため、対戦相手はいませんでした。目標参加率を上回り、金メダルをいただきました。今後も市民参加型のスポーツの推進に努めてまいります。

文化財関係では、郷土研究会に委託して「郷土の偉人」集の編成に取り組んでいただき、人的歴史資源に恵まれた神埼市のまとめが出来上がります。

また、「神埼市『教育の日』」を設定し、11月1日に、記念行事を行いました。神埼市の持つ

大きな教育財産の確認と、これからの歩みを方向付けるものとして、毎年実施していく予定です。

以上、昨年の主な実績を上げましたが、今年も昨年を引き続き、「地域の教育力の向上」を目標していきたいと考えております。学校を核とした、地域連携の強化を図り、相互の理解と協働のもとに、市民主体の教育環境の向上を目指していきたいと考えております。これによって「地域を知域に」を合言葉にがんばっていききたいと考えています。

今年度は、学校の施設・設備の整備に努め、学力の向上を一層推進いたします。社会教育については昨年以上にその充実に努めます。まず、公民館活動の充実・図書館活動の充実に、市民の皆さまの要望に応える活動内容の展開を目指します。

「ゆりかごから墓場まで」という言葉は、よく福祉行政で使われていますが、教育こそが、市民の皆さまの生涯の幸せにかかわっているものだと考えます。

今年も、教育委員会職員一同がんばってまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。ごあいさつといたします。

# 今年の抱負

## 総務企画部

昨年は、「安全・安心で快適なまち、元氣かんざき」を目指して、防災行政無線の整備やケーブルテレビによる情報伝達、巡回バスの実証運行、菱焼酎への取り組みなど、市民の皆さまが愛着の持てるまちづくりへの取り組みを進めてまいりました。

今日、地方主権改革の推進により、地方自治の自主性と自立性を高めることが求められており、市民の付託に応えるべく、自主的・自立的な行財政の運営と、時代の潮流を見据えた施策の推進が不可欠であります。

このような状況の中で、健全な行財政運営に努め、また市民に分かりやすく利用しやすい組織機構や事務事業の見直し、市民の安全・安心を確保するため防災行政無線の本格運用など防災体制の充実などに取り組んでまいります。



▲昨年限定販売された菱焼酎

さらには、「市民交流祭」の取り組みによる、市民の融和と親睦、一体感・満足感を高め、引き続き菱焼酎づくりの取り組み等により、地域の活性化を推進してまいります。

本年も、開かれた市政運営に向け職員一丸となって、全力で努めてまいります。

## 市民福祉部

市民課では、「総合窓口」をはじめとする更なる住民サービスの向上に努めます。国保医療では、生活習慣病の予防のため住民総合健診の受診率向上及び保健指導の強化に努めます。

保健環境課につきましては、生活環境、自然環境の保全、地球温暖化対策等の推進に取り組んでまいります。また、がん検診、ワクチンの接種等の推進による疾病の予防、異常の早期発見に取り組む、市民の健康づくりに努めます。

社会福祉では、子育て相互支援事業から発展したファミリーサポートセンター事業への取り組みとともに、西郷保育園の改築完了により市の公立保育施設も一定の水準に達した中で、子育て支援の更なる充実を図ってまいります。また、福祉事業の更なる推進とともに、災害時要



▲完成間近の西郷保育園

保護者支援システムへの登録の推進を図り、市民の皆さまの安全安心と福祉の充実に努めてまいります。

高齢福祉では、デイサービス事業などの元氣老人対策のほか、ひとり暮らし老人等を対象とした緊急通報システム事業への加入推進などにより、高齢者の生活安全対策に取り組まれます。また、地域包括支援センター事業では、介護予防事業に力を入れると共に、権利擁護や介護相談などの機能強化にも努めます。障がい福祉では、障がい者の自立を支援するため、就労継続支援・共同生活援助などの障がい福祉サービスの充実に努めてまいります。

## 産業建設部

活力ある農林水産業の振興を図るため、昨年は野菜等の共同出荷施設の整備や集落営農支援、また、集落が主体的に水路整備を行う取り組み等を進めました。

引き続き、安定的な農業経営の確立、多面的機能の維持等に向け、戸別所得補償制度や各種交付金・補助事業を活用し着実に取り組んでまいります。

また、クリーク法落対策については、国・県事業による計画的な推進を図るとともに、間伐材の利用促進に取り組めます。

商工振興では、景気低迷の続く中、地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム緊急助成事業、義援金付きプレミアム商品券事業等に取り組まれました。また、雇用の創出、地域経済の活性化を図るため、企業支援や誘致にも積極的に取り組まれました。引き続き商工振興、地域活性化に向けて努めてまいります。

また、観光面では、一昨年誕生しました市のマスコットキャラクター「くねんワン」「くねんニヤン」を各種イベントに参加させ、市のイメージアップと観光客の誘客に取り組まれました。引き続き、積極的に取り組んでまいります。

建設部門では、地域の念願でありましたJR上六丁踏切の拡幅工事が6月に完成し、西郷小

市民福祉の向上のため職員一丸となって取り組んでいきますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。



▲改良が待たれる市道国営千代田西1号線と市道境原龍尾線の交差点

学校へ通う児童など踏切利用者の安全確保が図られました。また、スポーツやレクリエーションで多くの皆さまに利用される筑後川運動公園には衛生的な循環式トイレが設置され、公園利用者の皆さまには大変喜んでいただいているところです。継続事業として取り組んでいきます国営千代田西1号線の道路改良については、整備計画区間を国道264号より更に県道佐賀・八女線まで延伸し利便の向上を図ってまいります。

下水道事業では、「環境に優しい生活者重視の神崎市づくり」を目指して、下水道管渠整備と浄化槽整備を進め、公共用水域の水質保全とトイレの水洗化による生活環境の改善に取り組まれます。